

中部地区の社会教育をつなぐ、ひろげる

わくわく中部



中部教育局社会教育担当だより平成 28 年 6 月 28 日発行

中国・四国・九州地区生涯教育実践研究交流会 ～倉吉市の実践発表より～

5月21日（土）、22日（日）に福岡県で中国・四国・九州地区生涯教育実践研究交流会が開催されました。そこで、鳥取県中部地区代表として西中・鴨川中学校区主事会の取組が実践発表されました。

【テーマ】 4つの知恵の輪！ 地域を越えた文化祭スタンプラリー

発表概要（配付された大会パンフレットより）

各公民館の担当区域をまたいだスタンプラリー構想は、倉吉市4つの地区の公民館主事研修会が生み出した連携事業である。目的は住民交流の拡大と文化活力の向上である。スタンプラリーは、カードデザイン作成や当日の運営・押印に住民を巻き込むことで地区内の協力体制を活性化し、他地区の事業を見学することに「景品」を準備して参加の呼び水とした。「スタンプラリー」も「景品」も他地区訪問の契機となり、結果的に、個別文化祭の参加者が増加し、受け入れ側にも、訪問側にも、「刺激」と「気づき」と「やる気」を生み出した。その背景には、公民館同士の日頃の連携があった。



明倫公民館と関金公民館の主事さんが活動を紹介！

会場は立ち見（聞く）が出るほどの満員御礼！



質問させてください！！発表を聞いた参加者から次々と質問がありました。「駐車場の確保は？」「公民館主事さんのバックボーンとなっているものは？」など。

ポイントは「公民館
同士の連携」



平成24年から公民館主事研修会を自主的自発的に実施。公民館の管理運営や事務の効率化など、1館の悩みをみんなで共有しながら研修を進めています。地域を越えて複数の公民館が連携することで地域活動がより活発になった事例が分科会参加者に元気を与えていました。

お揃いのTシャツを着て、応援団が駆けつけました。



東伯郡社会教育協議会からお知らせ

平成28年度東伯郡社会教育協議会表彰は4名の方に決定！

5月18日（水）に総会が開催されました。その中で、東伯郡社会教育協議会表彰があり、今年度は4名の方が受賞されました。御紹介します。

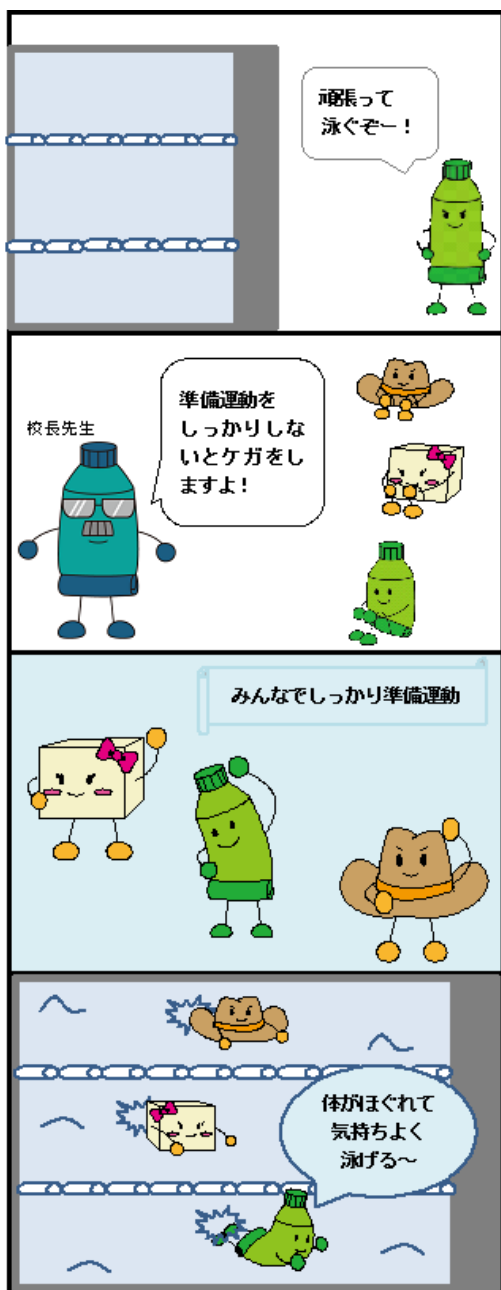
- 松岡玉枝さん（婦人会、女性会活動を通して社会奉仕をされました。）
- 小塩広子さん（琴浦町の青少年育成や町民の健康促進に尽力されました。）
- 山脇範子さん（琴浦町の文化財の保護や活用に尽力されました。）
- 那須典久さん（琴浦町の文化財の保護や活用に尽力されました。）

おめでとうございます。



ちゅうぶくん

～フール開き～



東伯郡社会教育協議会では今年度も地域を盛り上げる社会教育活動を応援します。ぜひ、下記の事業を地域づくり、まちづくりに御活用ください。

事業名	内容	期間	対象
1 社会教育関係者研修等派遣	先進的な取組を学び、地域活動等に生かすために、社会教育関係者を県外の研修会に派遣する。	通年	中部地区社会教育関係者、及び中高生（1名×4町）
2 社会教育活動助成	中部地区で市町をまたがって活動する社会教育団体の活動に対し助成する。 上限2万5千円	通年	中部地区内で市町を越えて活動する社会教育団体（1団体×4町）
昨年度実績 ・みささ青空体験塾（子どもの体験活動） ・レク会（元PTA会長が集まり郡内小学校で奉仕活動）			
3 社会教育活動助成（青年活動）	中部地区で活動する <u>青年層を中心とする社会教育団体の活動</u> に対し助成する。 上限2万5千円	通年	中部地区内で市町を越えて活動する社会教育団体（2青年団体）
例えば 例：スキー・スノボ交流会、情報交換会など			

※2、3の事業については、市町外にも広く参加者を呼びかけてください。

※お問合せは、中部教育局の西村までお願いします。

【あしがき】初めて生涯学習実践研究交流会に参加し、衝撃を受けました。実践発表者の熱意、参加者の社会教育を「何とかせんといかん！」という強い思いが会場に溢れていました。地域創生の取組において地方の知恵と工夫が問われる中、本大会のテーマ『「未来の必要」への挑戦』に沿ったたくさんの実践事例は大いに参考になりました。

中部教育局 社会教育担当 西村 信彦

電話 0858-23-3253

FAX 0858-23-5203

E-mail nishimuran@pref.tottori.jp